

# 佐渡米通信

# こめへる

2021年 09月号

発行日:2021年9月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 駒形・澁谷・渡辺(清)  
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

## 今年の出来栄予想

生育具合の指標となる葉色測定が行われました。今年の佐渡の梅雨明けは7月14日と早く、連日30度の高温で葉色が低下している圃場も見られました。対策として穂肥や追肥を確実に施用し品質を確保できるように管理しております。

現時点では収穫時期は平年並みからやや早まると予想しております。

予定通り7月末に「こしいぶき」、8月初旬に「コシヒカリ」が出穂しました!! 9月上旬から稲刈りが始まります!!



穂肥(ほごえ)をする農家さん



出穂(しゅつすい)した稲

## 水稲水管理指導会

8月3日~8月6日までの間、島内約100箇所の「佐渡米未来プロジェクト品質向上90」のモデル圃場で水稲水管理指導会が実施されました。指導会では、米の格落ち原因となる乳心白や胴割粒が発生しないように間断かん水を実施するように呼び掛けたほか、カメムシ対策について指導が行われました。



水稲水管理指導会

指導会を再確認できる様に、YouTubeの「JA佐渡営農指導チャンネル」で指導会の様子を配信しています。



## Team ECO Work コープにいがた 田んぼアクションイン 佐渡

「第242回 Team ECO Work コープにいがた 田んぼアクションイン 佐渡」が2年ぶりに開催され、参加者は田んぼアートの草取りと江の掃除を行いました。

佐渡では農薬や化学合成肥料を佐渡地域慣行栽培基準比より5割以上減らした米作りを推奨しているため、稲の間から生える草を取り除く作業があります。また、朱鷺の餌場の環境維持のために江の掃除も行っています。



田んぼに入って草取り



江の掃除

## 食農食育

島内の小学校では「食農食育」に取り組んでいます。「食農食育」とは、野菜や花等の植え付けや収穫、田植えや稲刈り体験などを通じて児童達に食の大切さを伝えていくことを目的として取り組んでいます。

JA営農担当者から説明を受けながら実際に土に触れ、米や野菜の農作業を体験します。収穫体験後は美味しく頂く予定です。



田植えについて説明をうける児童達

## 佐渡米応援動画 配信中

歌手の桑田圭祐さんが応援ソングとして書き下ろした最新シングル「SMILE~晴れ渡る空のように~」がYouTube上で自由に動画投稿できる企画が実施されました。

JA佐渡も同企画に賛同し、佐渡の米づくりと朱鷺の野生復帰に向けた取り組みを応援する動画を配信しております。

動画はこちらからご覧ください!!

